

# 北見武道通信

令和7年3月13日 00734号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

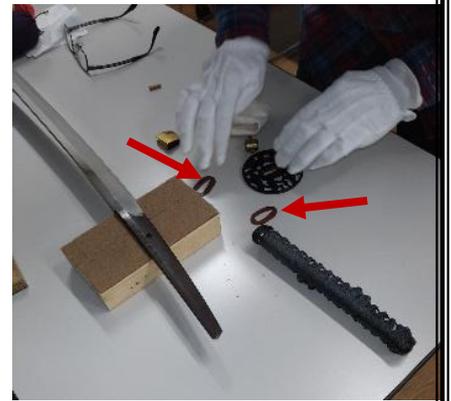
URL <http://www.kitamibudokan.org/>

[satou.toshiharu@navy.plala.or.jp](mailto:satou.toshiharu@navy.plala.or.jp)

## ニュースレター【事務局情報】 切羽詰まる!?



北見市武道館に頂戴した『守り刀』の刀みがきを北見居合道連盟の田牧純一先生に依頼しました。日本刀の手入中に『切羽詰まる』とは、ここからきている・・・と話してくれました。「切羽(せっぱ)」とは、刀の鑿(つば)を柄と鞘に固定する金具で、刀身と鑿を安定させる役割があります。「切羽詰まる」ときくと、思うようにいかずに焦る状態をイメージしてしまいます。調べると「切羽つまる」の語源は刀剣の「切羽」が詰



まって刀が抜けなくなることに由来しているともありましたが、逆を返せば「真剣勝負では切羽詰まる状態で初めて真の力が発揮される」と捉えることも出来るのではないのでしょうか。田牧先生は「切羽が詰まっていないと鑿がぐらつき真剣勝負には危険」と言います。人により理解のしかたは異なる様ですが、本来の能力を引き出すには切羽つまらないと出てこないのかもしれない。〈佐藤〉



**武道館スタッフ愛子の作品展シリーズ**  
テーマ「ひな祭パーティーで!おいしい物  
食べよう♪」・・・おだ

武道館スタッフ織田愛子

**事務所の花シリーズ「ミニアサガオ」**

我が家でミニアサガオが7センチ丈ですがタネからのが咲きました。〈渋谷〉



**連載 中国「老子」の思想 七十七章 「余りあるを損して、足らざるを補う」**

天道のはたらきは、あたかも弓に弦を張る動作に似ている。弓に弦を張るには、上端を引き下げ、下端を引き上げ、長い方(弓)をちぢめ、短い方(弦)をひっぱる。天道はこのように、あり余るものを減らし、足らぬものを補う。だが、人の世の道は、まったく逆だ。足らぬ者からしぼり取っては、あり余る者に貰いでいる。わが身にあり余る者を万民に施す。それは、「道」を体得した者でなくては、できないことだ。聖人は、万民に施しながらも、そのはたらきを誇らず、その成果にも無心である。聖人には、能力をひけらかす意志がないのである。原文：天之道其猶張弓乎。高者抑之、下者舉之。有餘者損之、不足者補之。天之道損有餘而補不足。人之道則不然、損不足以奉有餘。孰能有餘以奉天下。唯有道者。是以聖人、爲而不恃、功成而不處、其不欲見賢。七十八章に続く